

2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 産業労働部 観光課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【重点】岡山を満喫する滞在型観光の推進

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

指標名	◎観光消費額	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	1,630	1,660	1,700	1,700
現況値	1,488億円/年(2012~2015年度の平均)	実績値	1,664	1,778	1,959	
目標値	1,700億円/年	達成率	102.1%	107.1%	115.2%	
備考	観光入込客の消費総額	達成度	4	4	4	

指標名	○観光入込客数	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	1,395	1,430	1,465	1,500
現況値	1,356万人/年(2012~2015年度の平均)	実績値	1,570	1,443	1,692	
目標値	1,500万人/年	達成率	112.5%	100.9%	115.5%	
備考	観光地点を訪れた観光客数	達成度	4	4	4	

指標名	○延べ宿泊者数	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	520	530	545	560
現況値	511万人/年(2012~2015年度の平均)	実績値	583	562	566	
目標値	560万人/年	達成率	112.1%	106%	103.9%	
備考		達成度	※5	※5	※4	

3 事務事業評価

産業労働部 観光課	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題	事務事業総合評価
	晴れの国ゆっくり滞在事業、おかやま観光キャンペーン事業、滞在に結び付く周遊観光促進事業	<p>実施目的 県内での滞在時間の延長を図り、宿泊への誘導、飲食機会の増加など、観光消費の拡大につなげる。</p> <p>成果・課題 プラットフォームシステムを活用した旅行商品造成・販売促進事業や体験型観光商品造成事業等により観光素材の発掘、磨き上げを行い、観光キャンペーン2019「おかやま果物時間」の展開により効果的な観光誘客に努めた。観光消費額は年々増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けており、観光客の滞在時間の延長につながる施策等を速やかに展開していく必要がある。</p>	4
平均			4.0

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

<p>観光客の滞在時間の延長を図り、観光消費の拡大につなげるため、観光キャンペーン「おかやま果物時間」を実施するとともに、地域の特性を生かした旅行商品の造成等に取り組んだ。令和元年の観光入込客数は、前年度に平成30年7月豪雨災害があったものの、対前年比117.3%で、観光消費額も対前年比110.2%であった。</p>

6 今後の施策推進に向けての課題

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光需要を喚起するため、国のキャンペーンと連携した誘客施策を実施し、観光消費の回復を図る。

2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 観光課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【重点】多様な主体と連携した魅力発信		

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

指標名	◎観光消費額	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	1,630	1,660	1,700	1,700
現況値	1,488億円/年(2012~2015年度の平均)	実績値	1,664	1,778	1,959	
目標値	1,700億円/年	達成率	102.1%	107.1%	115.2%	
備考	観光入込客の消費総額	達成度	4	4	4	

指標名	○観光入込客数	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	1,395	1,430	1,465	1,500
現況値	1,356万人/年(2012~2015年度の平均)	実績値	1,570	1,443	1,692	
目標値	1,500万人/年	達成率	112.5%	100.9%	115.5%	
備考	観光地点を訪れた観光客数	達成度	4	4	4	

指標名	○延べ宿泊者数	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	520	530	545	560
現況値	511万人/年(2012~2015年度の平均)	実績値	583	562	566	
目標値	560万人/年	達成率	112.1%	106%	103.9%	
備考		達成度	※5	※5	※4	

3 事務事業評価

産業労働部 観光課	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題		事務事業総合評価
	ターゲット別、広域観光誘致対策、日本遺産等観光宣伝、キャンペーン	実施目的 市町村や観光事業者等と連携し、県南から県北まで広く誘客拡大に結び付く戦略的な観光プロモーションを展開することで、本県の認知度を向上させる。 成果・課題 旅行好きや映画のロケ地巡り好きなどターゲットを明確にした効果的な情報発信のほか、近隣県、JR西日本やNEXCO等と連携した観光PRに取り組んだ。引き続き、多様な主体と連携した戦略的なプロモーションに取り組む必要がある。	4	
平均				4.0

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

観光の広域化に対応した観光振興を図るため、近隣県との連携を密にしながら観光PRや情報発信を行った。また、多くの集客が見込める首都圏等で、市町村や観光事業者と連携して効果的な観光プロモーションを行った。

6 今後の施策推進に向けての課題

新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ観光需要を喚起するため、市町村や観光事業者など多様な主体と連携して、岡山の魅力を効果的かつ継続的に発信することにより、一層の認知度向上を図り、誘客の促進を図る必要がある。

2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 産業労働部 観光課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【重点】さらなるインバウンドの拡大と航空ネットワークの拡充

2 生き活き指標の進捗(達成)状況

指標名	◎観光消費額	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	1,630	1,660	1,700	1,700
現況値	1,488億円/年(2012~2015年度の平均)	実績値	1,664	1,778	1,959	
目標値	1,700億円/年	達成率	102.1%	107.1%	115.2%	
備考	観光入込客の消費総額	達成度	4	4	4	

指標名	○外国人旅行者宿泊者数	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	219,000	246,000	273,000	300,000
現況値	162,344人/年(2015年度)	実績値	324,283	356,924	313,673	
目標値	300,000人/年	達成率	148.1%	145.1%	114.9%	
備考	県内に宿泊する外国人旅行者数	達成度	5	5	4	

指標名	○岡山空港の国際線利用者数	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	22	23	24	25
現況値	15万人/年(2015年度)	実績値	26	30	26	
目標値	25万人/年	達成率	118.2%	130.4%	108.3%	
備考		達成度	4	5	4	

3 事務事業評価

県民生活部 航空企画推進課	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題		事務事業総合評価
	空路利用促進事業	実施目的 岡山桃太郎空港の路線充実、利便性の向上に向け、その前提となる利用者の増加を図るため、空路利用を促進する会等と一体となって利用促進活動を展開する。	成果・課題 令和元年度の岡山桃太郎空港の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、国内線・国際線とも前年度を下回り、1,503,792人となった。今後、感染症の収束を見極めつつ、運航を休止した航空路線の再開と落ち込んだ航空需要の回復に向けて、就航地でのPRなどの事業に航空会社等と連携して全力で取り組む。	

産業労働部 観光課	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題		事務事業総合評価
	Visit Okayama推進事業	実施目的 多様な主体と連携し、国や地域の特性に応じた魅力発信や外国人旅行者の受入環境の充実に取り組むことにより、さらなるインバウンドの拡大を目指す。	成果・課題 本県に宿泊した2019年度の外国人旅行者宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症の影響等により前年度比12.1%減となる約31万4千人となった。今後、外国人旅行者宿泊者数の増加に向け、観光コンテンツの開発や受入環境の整備を図るとともに、本県の認知度向上に資する情報発信等を行う必要がある。併せて、感染症の収束状況を見極める必要があるが、国・地域の特性に応じたプロモーションの実施に取り組んでいく必要がある。	

平均	4.0
----	-----

4 施策達成レベル

4.0

生き活き指標達成度と事務事業達成レベルを
4:1で加味して施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

インバウンドのさらなる拡大を目指し、近隣県、DMO、民間企業等と連携し、国内外で各種プロモーションを実施するとともに、体験型観光コンテンツの造成や多言語コールセンターによる通訳・翻訳サービスの提供など、外国人旅行者の受入れ環境の充実を図った。結果、2019年度の外国人旅行者宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症の影響等により昨年度の結果を下回ったものの、目標値の1.1倍となる約31万4千人となった。

6 今後の施策推進に向けての課題

新型コロナウイルス感染症の影響等により2020年度の外国人旅行者宿泊者数は大幅な減少が見込まれているが、事態収束後は速やかに反転攻勢に転じるため、この期間を積極的に活用し、観光コンテンツの開発や公衆トイレの洋式化支援などの受入環境の整備に取り組んでいく必要がある。併せて、本格的なインバウンド回復期に備え、本県の認知度向上に向け、国・地域の特性に応じたプロモーションの実施や、PR現地デスク・旅行会社等と連携した情報発信等を実施していく必要がある。

2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	都市局 都市計画課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【重点】岡山後楽園の魅力づくり		

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

指標名	◎観光消費額	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	1,630	1,660	1,700	1,700
現況値	1,488億円/年(2012~2015年度の平均)	実績値	1,664	1,778	1,700	
目標値	1,700億円/年	達成率	102.1%	107.1%	100%	
備考	観光入込客の消費総額	達成度	4	4	4	

指標名	○岡山後楽園の入園者数	年度	2017	2018	2019	2020
		目標値	840,000	872,000	900,000	900,000
現況値	817,260人/年(2015年度)	実績値	887,303	824,499	832,677	
目標値	900,000人/年	達成率	105.6%	94.6%	92.5%	
備考		達成度	4	3	3	

3 事務事業評価

都市局 都市計画課	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題		事務事業総合評価
	岡山後楽園の魅力づくり	実施目的 特別名勝岡山後楽園の歴史的・文化的な価値を受け継ぎつつ、国内外から多数の観光客が訪れる観光拠点として更に活用できるよう、賑わいの創出や保存整備を行うことにより、県内各観光地への波及効果や観光岡山のブランド化を図る。	成果・課題 魅力向上や賑わい創出を図るため、四季折々の伝統行事や春・夏・秋の幻想庭園の実施などに加えて、和装や茶道等の和文化を体験してもらう「和の感動体験事業」を新たに実施したほか、特別名勝保存整備事業として給水設備の更新などを行った。今後とも岡山後楽園・岡山城等連携推進協議会での協議や後楽園魅力向上委員会からの提言等を踏まえた、さらなる魅力づくり事業等を実施し、国内外からの入園者数の増加を図る必要がある。	3

産業労働部 観光課	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題		事務事業総合評価
	岡山後楽園・岡山城連携推進事業	実施目的 岡山後楽園の魅力発信につながる事業を岡山市と連携して行い、国内外からの入園者数の増加を図る。	成果・課題 岡山後楽園・岡山城の連携を推進し、共通パンフレットの作成などの情報発信を行うとともに、イベントや集客事業等の一体的な運営を図ることで両施設の回遊性向上に努めた。引き続き、さらなる観光誘客を図り、歴史文化資源を生かした岡山の顔づくりに努める必要がある。	3

平均	3.0
----	-----

4 施策達成レベル

3.4	生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

2019年度の入園者数は、832,677人で、春の幻想庭園期間中の大幅増などにより、7月までは堅調に推移したが、夏の幻想庭園期間中に台風による閉園や雨天の日が多かったことに加え、2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、全体としては豪雨災害の影響を受けた2018年度をやや上回る対前年度比1.0%増となった。

6 今後の施策推進に向けての課題

新型コロナウイルス感染症のまん延防止に取り組むとともに、後楽園魅力向上委員会の提言や、岡山後楽園・岡山城等連携推進協議会での協議などを踏まえ、既存事業のブラッシュアップやさらなる魅力づくり事業等を実施することにより、当面は国内を中心とした誘客を図っていく。

また、取組を進めるに当たっては、後楽園に関して専門的な知識や経験を有する岡山県郷土文化財団との連携により、効果的で効率的な事業実施が求められる。

2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 観光課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【推進】おもてなしの向上の推進		

2 生き活き指標の進捗(達成)状況

3 事務事業評価

事務事業名		事務事業の実施目的及び成果・課題	事務事業総合評価
産業労働部 観光課	観光連盟助成	実施目的 旅行者の満足度や印象度を高め、リピーターやファンの増加に結び付けるとともに、選ばれる観光地づくりを推進する。	4
		成果・課題 県内誘致組織と連携を図り、国際MICEエキスポでの誘致活動を行うとともに、旅行会社MICE担当者等への情報提供を行った。引き続き、交通アクセスや観光資源など、本県の優位性をPRしながら、主催者の意向を踏まえた上で、会議の分散や広域的なエクスカーションなどの提案を行っていく。	

平均	4.0
----	-----

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

本県の誘致組織と連携し、MICEバイヤーへの情報提供のため「MICEエキスポ2020」に出展するとともに、MICE情報の詳しい大手旅行会社を訪問し、本県の施設情報やエクスカーションに必要な観光情報を提供した。

6 今後の施策推進に向けての課題

新柄頃ウイルス感染症収束後は、関係市町村をはじめ、観光事業者など様々な主体が連携して誘致に取り組む。

2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	環境文化部 自然環境課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【推進】観光資源としての自然や文化の積極的な活用		

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

3 事務事業評価

事務事業名		事務事業の実施目的及び成果・課題	事務事業総合評価
環境文化部 自然環境課	国立公園満喫プロジェクト推進事業	実施目的 環境省が国立公園のナショナルパーク化を目指し、「国立公園満喫プロジェクト」として、蒜山地域を含む大山隠岐国立公園を選定したことに伴い、蒜山地域の自然景観を活用し、インバウンドに対応できる環境整備や人材の育成を図り、訪日客等の誘客促進を図る。	4
		成果・課題 大山隠岐国立公園内において、蒜山地域の自然をより楽しんでもらうための登山道の整備を行うとともに、トイレの洋式化を実施した。 インバウンドに対応するため、案内板の多言語化や外国語の案内補助資料の作成、コミュニケーション研修会を実施した。	

平均	4.0
----	-----

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

真庭市蒜山エリアにおいて、関係自治体や団体の協力を得ながら、インバウンドに対応した施設整備をするとともに、外国語の案内補助資料の作成及びコミュニケーション研修会の実施により、インバウンドの受け入れを支援した。

6 今後の施策推進に向けての課題

新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、インバウンドの誘致に向けて、さらなる施設整備を行うとともに、作成した案内補助資料に基づく支援やガイドのさらなる育成を図る必要がある。

2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 土木部 港湾課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【推進】港を中心としたにぎわい空間の創出

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

3 事務事業評価

	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題	事務事業総合評価
土木部 港湾課	宇野港利用促進費	実施目的 宇野港への航路誘致を推進するとともに、宇野港を中心とした賑わいの創出を目的とする宇野港航路誘致推進協議会の事業活動への支援を行うことで、地域の発展を図る。	5
		成果・課題 宇野港航路誘致推進協議会に対する支援やポートセールス、地域住民が参加した歓迎イベント、宇野港の認知度を高めるための雑誌への掲載などを実施したことにより、年22回の寄港実績があった。	
土木部 港湾課	賑わい創出！宇野港情報発信力強化事業	実施目的 宇野港ではクルーズ船の寄港回数が増加しており、クルーズ船の乗客をはじめとする外国人旅行者の主たる情報取得はインターネット接続によるものであることから、宇野港に屋外Free Wi-Fi設備を整備し、宇野港の周辺情報が豊富なホームページを開設することで、乗客の県内観光地への誘導を促す。	5
		成果・課題 宇野港にFree Wi-Fi設備を整備し、宇野港の周辺情報が豊富なホームページを開設したことなどにより、「Okayama Free Wi-Fi」サービスの利用回数が18,542回となった。	
平均			5.0

4 施策達成レベル

5.0	生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

地元玉野市や宇野港航路誘致推進協議会をはじめ民間団体等と連携して、クルーズ客船誘致のためのポートセールスやイベントを実施し、賑わいのある港づくりを進めたことにより、外国船の寄港回数が増加し、事業目標を達成した。また、Free Wi-Fi設備の整備や宇野港の周辺情報が豊富なホームページを開設したことなどにより、外国人旅行者に対する情報提供や周辺地域の賑わい創出が促進された。

6 今後の施策推進に向けての課題

近年、周辺港も積極的なクルーズ客船誘致活動を行っていることから、宇野港や本県の観光資源の魅力がより伝わるような誘致活動を展開する必要がある。また、地元住民と一体となった寄港歓迎イベント等を行い、寄港回数のさらなる増加を図る。なお、新型コロナウイルス感染症により、クルーズ船寄港に伴う感染症防止策や感染者の受入体制を検討する必要がある。

2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 土木部 道路整備課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【推進】サイクリングを通じた観光振興

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

3 事務事業評価

	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題	事務事業総合評価
土木部 道路整備課	サイクリング関連事業	実施目的 県内に多くのサイクリストを呼び込み、活力ある地域づくりと観光振興につなげるため、「爽快！岡山満喫サイクリングロード事業」等によりサイクリング推奨ルートを整備する。	4
		成果・課題 2019年度は、片上鉄道沿線地域活性化対策協議会と協働で策定した整備計画に基づき、片鉄ロマン街道の特色である『レトロ感』や『郷愁』を生かしたデザインの補助看板・距離標・路面標示の整備を行った。	

	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題	事務事業総合評価
産業労働部 観光課	おかやまハレいろサイクリングツアー事業	実施目的 サイクリングを通じ地域に多くの人を呼び込み、観光振興やにぎわい創出につなげる。	4
		成果・課題 サイクリング推奨ルート及び沿線の観光地、グルメ等の魅力を発信するため、8ルート紹介動画や著名サイクリストの体験レポート等を各種媒体で情報発信するとともに、サイクリングイベントへの出展等を行った。引き続き、サイクリストを地域に呼び込み、沿線のにぎわい創出を図る。	

平均	4.0
----	-----

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

片鉄ロマン街道の特色である『レトロ感』や『郷愁』を生かしたデザインの補助看板・距離標・路面標示の整備を行うことで、地域の魅力を高めるとともに、利便性の向上などにつながった。

6 今後の施策推進に向けての課題

推奨ルートの魅力をより一層広く周知していくため、ホームページの多言語化及びSNS等による情報発信を行う必要がある。

2020年度 施策評価シート(2019年度実績)

1 評価施策名	担当部課室	県民生活部 情報政策課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興	
戦略プログラム	観光振興プログラム	
施策名	【推進】公衆無線LAN環境の充実	

2 生き生き指標の進捗(達成)状況

3 事務事業評価

県民生活部 情報政策課	事務事業名	事務事業の実施目的及び成果・課題	事務事業総合評価
	公衆無線LAN環境整備推進事業	<p>実施目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内全域での利用者の利便性向上 ・外国人観光客のニーズへの対応によるSNS情報発信機会の拡大 ・災害時の通信手段の確保 <p>成果・課題</p> <p>2019年度末現在、「おかやまWi-Fi」のアクセスポイント数は、県施設に設置した50箇所を含む1,164箇所となっており、県内の公衆無線LAN環境の充実に向けて着実に普及が進んだ。事業目標の最終年度である2019年度の目標値は超えたが、今後も民間事業者や商工団体等と連携し、「おかやまWi-Fi」の推進に向けた効果的な取組を継続して実施する必要がある。</p>	4

平均	4.0
----	-----

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標達成度と事務事業達成レベルを4:1で加味して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

公衆無線LAN接続アプリを使用することで、一度の利用登録で岡山後楽園や倉敷美観地区等の公衆無線LANサービスにも接続できる「おかやまWi-Fi」を、民間事業者との連携協定の活用や、商工団体等との連携により、市町村施設や民間施設等への設置を促進し、県内の公衆無線LAN環境の充実に取り組んだ。

6 今後の施策推進に向けての課題

今後も、設置が進んでいない地域での公衆無線LAN環境のより一層の普及推進に向け、民間事業者や商工団体等と連携した効果的な取組を継続して実施する必要がある。